

# 岩手県立宮古北高等学校 平成30年度第1回学校評議員会

平成30年6月15日（金）本校大会議室で実施

## 学校評議員名簿（出席者）

氏名	所属（役職）
なか や ゆたか 中 屋 豊	宮古市立田老第一中学校 校長
た むら すが こ 田 村 清 子	宮古北高等学校 教育振興会長
はし かみ かず し 橋 上 和 司	三陸鉄道株式会社 旅客サービス部長
たか はし みつる 高 橋 充	田老公民館 館長

### （本校職員の出席者）

熊谷 和 浩（校長） 佐々木 伸 良（副校長） 富手 明 美（事務長）  
 佐々木 和 彦（校務渉外課長） 植 木 淳（学習指導課長）  
 勝 又 靖（生徒指導主事） 兵 藤 一 仁（進路指導主事）  
 舞 田 寛 武（保健主事） 山 崎 満寿美（教育相談室長）  
 武 藤 秀 郷（総務課員）

### （目的）

本年度の学校概況及び学校運営方針と、運営方針に基づいた各分掌の教育指導計画等を明示しながら、地域に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進する学校活性化のための方策について意見を集め、本校教育の充実発展に寄与することを目的とする。

### （学校概況説明）

学習指導…授業公開週間を実施し、お互いの授業を見せ合いながら、教職員の質の向上、授業の雰囲気づくりの学び合いに努めている。教育課程に学校設定科目（ベーシック数学）を取り入れ、生徒の学び直しの場として活用している。

生徒指導…本校生徒はスマートフォンの使用時間が長い傾向にある。生徒・保護者向けの情報モラル講話を実施し、生活習慣の見直しにつなげようと努めている。オリンピックや全校遠足では生徒実行委員会を組織し、活動している。これらの行事を一人ひとりの活躍の場面づくり、地域への発信につなげていきたい。

進路指導…講話やインターンシップではさまざまな年代、職業の方とのかかわりを通して生徒の経験値を上げられるようにしたい。就職した生徒の定着指導を通して離職者を出さないための取り組みにも力を入れたい。

保健厚生…本校生徒は肥満傾向にある生徒の割合が高い。身体測定を2か月に1回実施し、生徒自身がカードに記録することで健康増進につなげていきたい。

教育相談…スクールカウンセラーに月2回来校していただいている。困っていても自分から言い出せない生徒もおり、生活アンケートを活用しながら困り感の把握と解決を図りたい。

校務渉外…PTA活動として、オリンピックでの豚汁提供、宮北祭での食堂の運営など行っている。避難訓練の内容を工夫し、より実践的な訓練になるよう努めている。

(質疑応答)

肥満について、小学校や中学校でも問題だという意識を持っている。お菓子など間食をする児童生徒が多く、家庭の協力を得ながら指導する必要があるのではないか。

スマートフォンの使用マナーについて、宮古市内の中学生が集まって協議する場を作ることになっている。使用ルールを自分たちで作る活動をする予定である。

(評議員助言)

高校での取り組みを中学校の職員にも広めたい。評議員会の前に授業（総合的な学習の時間）を見させていただいたが、雰囲気明るく、進路について生徒たちが真剣に考えている姿が印象的だった。

先生方の様々な働きかけで生徒一人ひとりが自分を出せるようになってきているように思う。今後そのような取り組みを期待したい。

校長あいさつの中で「月例集会（宮北の森）」で生徒だけでなく先生もスピーチをしているという話が印象に残っている。様々な刺激を受けて生き生きと活動する生徒が育っているのではないかと感じている。

肥満の問題は震災を境に小学校・中学校でスクールバスでの通学になったことも大きな要因ではないかと思う。宮古北高校の生徒はあいさつが良くできる。地域の支えとなる生徒を育てていってほしい。